資質・能力の育成に向けた各教科等の関係（案）

平成２８年５月２６日
体育・保健体育、健康、安全WG
資料２－２

学校教育目標と、それに基づき育成すべき資質・能力の設定

（子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき設定）

◆学校教育目標と、それに基づき育成すべき資質・能力を設定し、それらを踏まえて、教科横断的な視点で教育課程を編成

◆教科を越えた学校内の連携や地域等との連携を図りながら、教育課程の内容と人的・物的資源等を効果的に組み合わせて実施

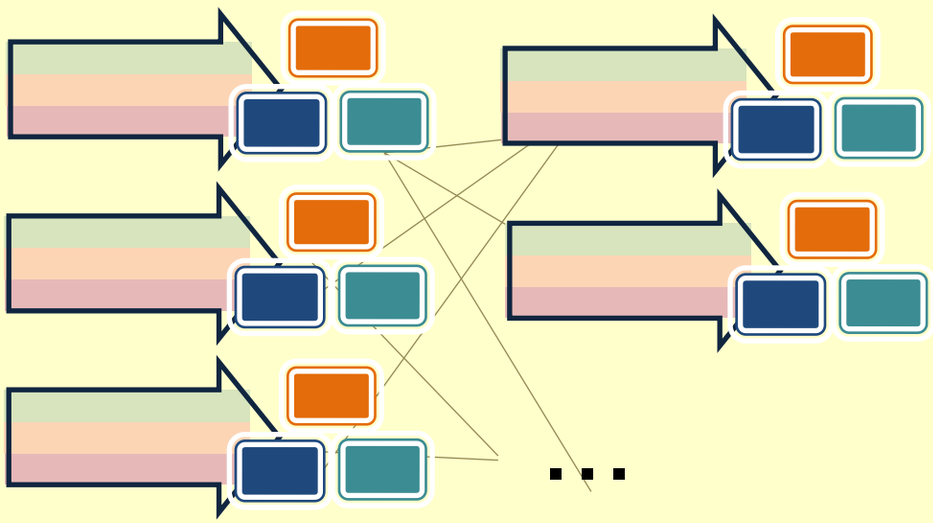
◆実施状況に関する各種調査やデータ等を踏まえつつ、教育課程を評価し改善

家庭・地域等

◆学校教育目標や育成すべき資質・能力を家庭・地域等とも共有

各教科

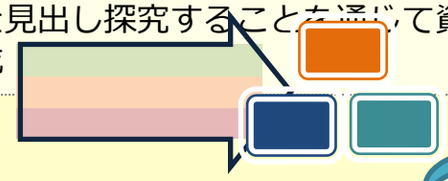
◆各教科の特質に応じ育まれる見方や考え方を働かせた学びを通じて、教科相互の関連性を視野に入れながら、資質・能力を育成



総合的な学習の時間

◆学校が育成すべき資質・能力を踏まえて教育目標を設定（学校教育目標と直接的につながる）

◆各教科の見方や考え方を総合的に活用し、自ら問いを見出し探究することを通じて資質・能力を育成



◆教育課程の実施にあたり連携・協働

特別活動

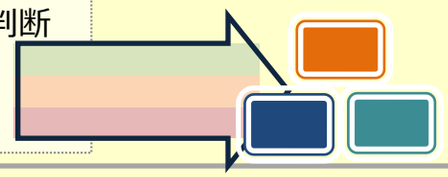
◆学習の基盤となる学校生活全体の基盤づくりと、自分の生活やキャリアに学びをどう生かすかという振り返り

◆各教科の見方や考え方を総合的に活用し、望ましい集団活動を通じて資質・能力を育成

特別の教科 道徳

◆よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる

◆各教科等で育成する人間性の基盤となる



教育課程外の教育活動

◆関連する教科等の見方や考え方を働かせた学びを促進するなど、教育課程との関連を図る

◆教育課程外の教育活動の実施にあたり連携・協働

◆学校教育以外の多様な教育活動の機会を提供

※現代的な課題やテーマに焦点化した教育については、それらを通じて育成する資質・能力（三つの柱）と、各教科等との関係性について、総則解説等で整理することを検討。